

「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想（最終報告）骨格案

1. 「生涯活躍のまち」構想とは

- (1) 構想が目指すもの
- (2) 構想の意義
 - － 高齢者の希望の実現
 - － 地方へのひとの流れの推進
 - － 東京圏の高齢化問題への対応

2. 構想の基本コンセプト

- (1) 従来の高齢者施設との基本的な違い
- (2) 入居者に求められる基本理念への理解
- (3) 基本コンセプト

3. 構想の具体像

- (1) 入居者
- (2) 立地・居住環境
- (3) サービスの提供
- (4) 事業運営

反映

4. 制度化の方向性

- (1) 制度化する際の対象
- (2) 国、地方公共団体、事業主体
の役割分担と連携

5. 構想実現に向けた支援

- (1) 構想の具体化プロセス
- (2) 構想実現に向けた多様な支援
 - － 情報支援
 - － 人的支援
 - － 政策支援

更なる検討

更なる検討

最終報告に向けた主な論点

(論点1) 「生涯活躍」の具体的なイメージ ⇒ **【資料5】**

- ◆入居者の就労・社会参加・生涯学習などの「生涯活躍」とその「支援サービス」の具体的なイメージを深める必要がある。

(論点2) 持続可能な「事業運営モデル」の具体化 ⇒ **【資料6】**

- ◆生涯活躍のまち事業を持続的に運営する「事業運営モデル(ビジネスモデル)」として、以下の2点を検討する必要がある。

- ①事業主体(運営推進法人)によって、生涯活躍のまち事業についてどのような収益構造が想定されるか。
- ②持続可能な「事業運営モデル」を確保する観点から、どのような工夫・対応が必要とされるか。

(論点3) 入居者の流動性を確保し、適切な人口構成を維持する方策 ⇒ **【資料7】**

- ◆中長期的にわたって、多世代が交流し、活気あるコミュニティを確保するためには、コミュニティの人口構成を適切に維持していく必要がある。このために、入居者の入居・退出などに関して、どのような配慮が必要とされるかを検討する必要がある。

(論点4) 住み替えの際に求められる中古住宅の資産化の推進 ⇒ **【資料8】**

- ◆住み替えの際、残された中古住宅がより適切に資産化されるよう、様々な取組を推進していく必要がある。

(論点5) 地方の構想の実現を支援するための「人的支援」 ⇒ **【資料9】**

- ◆地方公共団体における構想の実現に向けた取組が、円滑に進められるようにするための「人的支援」について検討する必要がある。